

学年末「学校評価に関するアンケート」結果について

軽暖の候、皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、学年末の学校評価アンケートでは、御協力をいただきありがとうございました。

つきましては、アンケートの結果について、お知らせいたします。

また、皆様からいただきましたアイデア等についても、全体にかかわるものについて、回答させていただきます。

1 回収率 ○91.0% (155家庭中、141家庭) 【前回7月回収率：88.5%】

2 結果 ○ほとんどの項目で良好な評価で、7月よりも伸びている項目が多かった。

以下、肯定的な回答の割合による区別（「4」「3」が肯定的な回答）

(1) 95%以上7項目－(2, 3, 10, 11, 14, 15, 20番)

(2) 90%以上4項目－(1, 12, 16, 19番)

(3) 80%台7項目——(4, 5, 6, 7, 17, 18, 21番)

(4) 70%台1項目——(9番)

(5) 60%台2項目——(8, 13番)

学校評価アンケート結果(R1.7)と(R2.学年末)の対比 保護者

番号	項 目	7月	学年末	7月	学年末
		4+3		平均値	
1	わたし（保護者）は、学校や学級の教育方針等について理解している。	89%	93%	3.2	3.2
2	子供は、学校へ行くことを楽しみにしている。	95%	97%	3.7	3.6
3	学校は、命を大切にするなど、豊かな心を育てるための工夫や手立てを行っている。	97%	98%	3.4	3.5
4	子供は、人のためになることを進んで行っている。	83%	89%	3.1	3.1
5	子供は、相手を傷つけない優しい言葉づかいに気を付けている。	76%	81%	2.9	3.0
6	子供は、家や地域で元気にあいさつをしている。	80%	86%	3.1	3.2
7	子供は、困っている友達がいたら進んで助けている。	91%	89%	3.2	3.2
8	子供は、家で本を読んでいる。	58%	66%	2.8	2.8
9	子供は、「早寝・早起き・朝ごはん」「忘れ物」等の基本的な生活習慣が身に付いている。	78%	72%	3.0	3.0
10	子供は、安全に気を付けて登下校している。	96%	97%	3.4	3.4
11	子供は、放課後や休日など、安全に遊んだり過ごしたりしている。	96%	98%	3.4	3.5
12	学校は、学力向上を図るための工夫や手立てを行っている。	91%	93%	3.3	3.3
13	子供は、家庭学習に進んで取り組んでいる。	69%	66%	2.8	2.9
14	学校は、子供を理解しようと努めている。	96%	98%	3.4	3.4
15	学校は、学校だより等で教育方針や子供たちの様子をわかりやすく伝えている。	94%	99%	3.5	3.5
16	学校は、子供一人一人の教育的ニーズに対して、関係機関や保護者と協力しながら支援している。	88%	91%	3.2	3.2
17	子供の問題行動等について、必要な場合には、学校と保護者が協力して解決を図っている。	91%	88%	3.3	3.2
18	地域の大人として、地域の子供の健全育成に協力している。	87%	88%	3.1	3.1
19	学校や他の保護者、地域の方々と協力しながら、わが子の教育に努めている。	92%	92%	3.2	3.2
20	PTA活動は、保護者と学校が協力して活発に行われている。	96%	97%	3.4	3.4
21	PTA会員として、PTA活動に進んで参加している。	88%	80%	3.1	3.1

保護者からのアイデア・ご意見等（全体にかかわるもの）

- 沢山の道村式の漢字の失敗を耳にします。漢字ノートに書いて覚えるようにしてほしい。
- 子供たちの書く漢字の書き順がなっていません。漢字カードを読んで覚えるのも良いと思うのですが、初めにしっかりした書き順を教えて頂けると助かります。私が教えようとする、素直には聞いてくれないのです。よろしくお願いします。
- 漢字が全く身に付いていない。読むだけでは覚えるどころか、使い方、意味が理解できていない。
 - 学力テストや漢字検定の結果からも、ご指摘の問題点が出てきています。しかしながら、「唱えて覚える」ことで、ほとんどの子供が基礎となる漢字の部品を自然と身に付けることができているという成果は上がっています。今後は、「書く」ことをどのように取り入れていけば、より子供のためになるのかを発達段階に応じて研究し、実践していきます。
- 優しい言葉づかいは、学校(児童)内で使っていなければ意味がないと思う。思いやりがないと思う。
- 小学生があいさつを元気よくする活動や指導に力を入れてほしい。(あいさつを返さない子が多い気がする。)
 - この2点については、教職員等に対する場合と普段との違いからの気づきだと思われます。ご指摘の通り、優しい言葉づかいやあいさつは、「いつでも、どこでも、だれにでも」を目指さなければなりません。これからも、教職員一丸となって指導をしていきますので、ご家庭や地域での声掛けをお願いします。
- 子供たちの公園やその他の場所でのマナーがなっていない。ごみのポイ捨て、自転車。
 - 子供たちの校外での遊び等についての情報が入った時は、すぐに子供たちに指導をしています。ご指摘の「ゴミ」や「自転車」についても幾度となく指導をしてきました。「指導後はよくなっても、しばらくすると・・・」の繰り返しです。子供の心に届く指導ができていないことは反省しなければなりませんが、今後も、必要なことは指導していきますので、ご家庭や地域での声掛けをお願いします。
- 保護者のモラルがここ数年著しく低下していると感じています。何かいいアプローチがあれば・・・と思います。
- 風通しの良いクラスになるように、保護者懇談会で保護者同士が話しやすくなるような工夫があったらいいと思います。
 - 保護者の方が、いろいろなことに様々な思い・考えをもたれていることと思います。それらのことを率直に出し合い、いいアイデアを出していく場に「懇談会」をしたいですね。来年度は、「学級レク」の在り方も含めて、アイデアを出し合ってよりよい会にしていきたいと思います。
- 一人一役が負担でしかない。
 - 「学校評価アンケート」の度に、「一人一役」への問題提起がなされていますが、現状では、市PTA連合会等の社会教育関係団体が主催する大会では、「動員」の要請があります。「有志」を募ってまかなうことが理想ですが、そのようにすると、結局、学級役員や本部役員に更なる負担を強いることが予想されます。
「会員にとってよりよいPTA活動」を目指して、知恵を出し合っていかなければなりません。具体的な案も含めて、保護者の方々のご意見をいただければ幸いです。よろしくお願いします。